

Check!

# 「スクール・ポリシー」とは何か?

※参考資料「新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ(審議まとめ)」

近年、高校を取り巻く状況

すべての生徒の可能性を引き出す、  
多様かつ質の高い教育が求められている

- 高校進学率が99%を超え、多様な入学動機、学習経験などさまざまな背景をもつ生徒たちが在籍している。
- 生徒の興味関心や状況に応じた「個別最適な学び」や、地域の方をはじめ、他者との「協働的な学び」が求められている。
- 社会の急激な変化や少子化の進行を踏まえ、地域社会と協働しながら、これからの時代を生き抜く力を育成する必要がある。

学校内外の関係者との  
連携・協働がますます必要

高校ごとの教育を  
精選・重点化する指針が必要

特色化と魅力化を図るための課題

従来の学校教育目標は、  
抽象的で特徴がわかりにくい、校内外への共有・浸透が十分ではない  
といった指摘もある。

今求められていること

高校の設置者 高校の存在意義や期待される社会的役割 = 「スクール・ミッション」の再定義

各高校 特色・魅力ある教育を行うための入口から出口までの教育活動の指針 = 「スクール・ポリシー」の策定

① グラデュエーション・ポリシー

育成を目指す資質・能力に  
関する方針

② カリキュラム・ポリシー

教育課程の編成及び  
実施に関する方針

③ アドミッション・ポリシー

入学者の  
受入れに関する方針

スクール・ポリシーに定める内容は、  
従来より高校内で言語化されずに  
取り組まれていたものがあるかもしれない。

改めてスクール・ポリシーを  
言語化するプロセスそのものに  
「協働」のヒントが?

